

疫病、べと病などの卵菌類病害に
“よかったね、早めのランマン”

殺菌剤

ランマン®
フロアブル

®は登録商標

特長 1

優れた予防効果・残効性・耐雨性

優れた残効性と耐雨性により安定した予防効果が期待できます。
残効が長く、作物・生育ステージによっては、10～14日間隔の散布も可能で、
農薬使用回数の低減につながります。

特長 2

病原菌の各生育ステージを低濃度で阻害

胞子発芽から胞子形成に至る各生育ステージを阻害し、安定した防除効果を示します。

特長 3

まん延防止効果（サニテーション効果）

予防効果主体の薬剤ですが、遊走子のう形成阻害作用に優れ、次世代の菌密度を
効率的に抑えるので、未感染葉や周辺株への病害進展を防ぎます。

特長 4

登録作物が多い

主要作物からマイナー作物まで様々な作物に登録があるので汎用性が高く、
使いやすい薬剤です。



◆ ホクサン株式会社

適用病害と使用方法							
作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアソファミドを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	苗立枯病(ピシウム菌)	1,000	※1	は種時 発芽後～緑化期	1回	土壌灌注	1回
ぶどう	べと病	1,000～2,000	200～700	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ	褐色腐敗病	2,000		収穫前日まで			
いちじく	疫病			収穫3日前まで			
日本なし							
小麦	褐色雪腐病	1,000	100	根雪前	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		250	25				
		8	0.8				
あずき	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	4回以内 (種子への処理は1回以内、 散布は3回以内)
だいず		1,000	100～300	収穫7日前まで	3回以内	散布	
	茎疫病、べと病	1,000～2,000	100～300	収穫7日前まで	3回以内	散布	
えだまめ	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	
	茎疫病、べと病	1,000～2,000	100～300	収穫3日前まで	3回以内	散布	
さといも	疫病	2,000	100～300	収穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
		32	3.2				
		16	1.6				
ばれいしょ		1,000～2,000	100～300	収穫7日前まで	4回以内	無人航空機による散布	4回以内
		375	25				
		600	40				
		32	3.2				
		16	1.6				
キャベツ	べと病 ピシウム腐敗病	2,000	100～300	収穫3日前まで	1回	無人航空機による散布	6回以内 (育苗期の灌注は1回以内、本圃での 株元灌注は1回以内、 散布及び無人航空機 散布は合計4回以内)
		32	3.2				
		16	1.6				
		2,000	250ml/株				
カリフラワー	根こぶ病	500	※2	定植前日～当日	1回	灌注	6回以内 (育苗期の灌注は1回以内、 本圃での 株元灌注は1回以内、 散布は4回以内)
	べと病	2,000	250ml/株	収穫14日前まで	1回	株元灌注	
はくさい	べと病 ピシウム腐敗病 白さび病	2,000	100～300	収穫3日前まで	4回以内	散布	6回以内 (育苗期の灌注は1回以内、 本圃での 株元灌注は1回以内、 散布は4回以内)
	根こぶ病		250ml/株	収穫14日前まで	1回	株元灌注	
			※2	定植前日～当日	1回	灌注	
非結球あぶらな科葉菜類 (なばな類を除く) エンサイ	白さび病	2,000	100～300	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
なばな類	根こぶ病	500	※2	定植前日～当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
ブロッコリー		2,000	250ml/株	収穫14日前まで	3回以内	株元灌注	5回以内 (育苗期の灌注は1回以内、 本圃での株元灌注は1回以内、 散布は3回以内)
		べと病	100～300	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
にがうり	疫病	1,000	100～300	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
きゅうり、メロン	べと病	1,000～2,000			150～300		4回以内
ズッキーニ	疫病	1,000	100～300		2回以内		2回以内
すいか	褐色腐敗病	1,000～2,000	150～300		3回以内		3回以内
とうがん	疫病	2,000	150～300	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
かぼちゃ	べと病、疫病				3回以内		3回以内
トマト、ミニトマト	疫病	1,000～2,000			4回以内		4回以内
ピーマン、とうがらし類	疫病	2,000			100～300		3回以内
なす	褐色腐敗病		100～300	4回以内	4回以内		
ねぎ	べと病			3回以内	3回以内		
レタス、非結球レタス わけぎ、ほうれんそう 葉たまねぎ	べと病			4回以内	4回以内		
たまねぎ	べと病、白色疫病	収穫7日前まで		4回以内			
みょうが(花穂)	根茎腐敗病	500	3ℓ/㎡	生育期 但し、 収穫3日前まで	3回以内	土壌灌注	4回以内 (種根茎浸漬は1回以内、 土壌灌注は3回以内)
みょうが(茎葉)		200	—	植付前	1回	30分間 種根茎浸漬	
		500	3ℓ/㎡ 1～3ℓ/㎡ 2～3ℓ/㎡	※3 生育期 但し、 収穫30日前まで	3回以内	土壌灌注	
しょうが		500～1,000	3ℓ/㎡	生育期 但し、 収穫3日前まで	2回以内	散布	
葉しょうが	根腐病	500～1,000	3ℓ/㎡	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
こんにゃく				収穫3日前まで			
畑わさび				収穫7日前まで			
わさび				畑育苗期			
かぶ	べと病、白さび病	2,000	150～300	収穫3日前まで	3回以内	散布	2回以内
	根こぶ病		2ℓ/㎡	は種時	1回	灌注	4回以内 (は種時の灌注は1回以内、 散布は3回以内)
だいこん	ワッカ症 白さび病		収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内	
はつかだいこん			100～300	収穫3日前まで 但し、伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで	2回以内	散布	2回以内
みつば	べと病		150～300	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
バジル			100～300	収穫3日前まで	4回以内	散布	4回以内
おかひじき			150～300	収穫3日前まで	4回以内	散布	4回以内
らっきょう	白色疫病	500～1,000	100～300	育苗期	2回以内	株元灌注	4回以内 (育苗期は2回以内、 定植後は2回以内)
いちご	疫病		50ml/株				生育期 但し、 収穫30日前まで
ホップ	べと病	2,000	200～700	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内

※1:育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り0.5ℓ ※2:セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約2.5〜7ℓ)当り2ℓ
※3:みょうが(茎葉)での使用時期は、「みょうが(花穂)」の収穫3日前まで。ただし、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで。」

ラシマン®

フロアブル

殺菌剤分類 21

有効成分

シアソファミド…9.4% (w/w)

人畜毒性

普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

上手な使い方

- 病害虫の初期発生源となる圃場内や周辺の雑草除去、および前作物の被害残渣や罹病株の処理を適切に行いましょう。
- 農薬の使用にあたっては…
 - 同系統薬剤の連用をさけ、ローテーション防除を心がけましょう。
 - 農薬の有効成分総使用回数を守りましょう。
- 本剤は灰色かび病や炭疽病、うどんこ病、夏疫病、軟腐病、葉かび病、輪紋病、晩腐病、黒とう病に防除効果がありますので、それらの病害が同時発生する場合は、これらに有効な薬剤と組み合わせ使用してください。

!

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用直前に容器をよく振ってください。
- 予防効果主体なので、できるだけ発病前または発病初期に散布してください。
- 小麦、ばれいしょに対して少量散布で使用の場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置を使用してください。
- 根こぶ病防除に使用する場合、発病が激しい場合は効果が劣ることがありますので、土壌処理剤と組み合わせ使用してください。
- キャベツに灌注処理する場合は、品種によっては初期に軽度の生育抑制がみられることがありますが、実用上に問題はありません。
- 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落としてください。
- みずけな(水掛菜)に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- あずき、だいずおよびえだまめの種子塗沫に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - 使用前に容器をよく振ってから塗沫処理を行ってください。
 - 薬剤の使用量を守り、水等で希釈せずに使用してください。
 - 塗沫処理は播種当日または前日に行ってください。
 - 薬剤が種子に均一に付着するように処理した後、速やかに広げて乾燥させてください。
 - 本剤を処理した種子を食用など目的外に使用しないでください。
 - 本剤処理後の播種から発芽までの時期は土壌が過湿にならないように注意してください。
- 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう安全に処理してください。
- 使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

!

安全使用上の注意

- 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
- かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にかけないようにしてください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼な所に保管してください。

※無人航空機による散布で使用する場合は、製品ラベルの注意事項を守ってください。

空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所に置かないでください。



紅色雪腐病



雪腐大粒菌核病



雪腐黒色小粒菌核病



雪腐褐色小粒菌核病



褐色雪腐病

小麦の雪腐病殺菌剤



シルバキュア[®]フロアブル

シルバキュアはバイエルグループの商標登録です

フロンサイド[®] SC

フロンサイドは石原産業の商標登録です

ランマン[®]フロアブル

ランマンは石原産業の商標登録です

各種、雪腐病の防除に!!



ホクサン株式会社

適用病害と使用方法(抜粋)

※平成29年8月現在

■ シルバキュアフロアブル

作物	適用病害	使用量		使用時期	総使用回数		使用方法
		希釈倍数	10アール当り 散布水量		本剤	テブコナゾール剤	
小麦	雪腐小粒菌核病	1,000~2,000	60~150ℓ	根雪前	1回	3回以内 (根雪前は1回以内、 融雪後は2回以内)	散布 無人ヘリコプター による散布
		500	25ℓ				
		16	0.8ℓ				

■ フロンサイドSC

作物	適用病害	使用量		使用時期	総使用回数		使用方法
		希釈倍数	10アール当り 散布水量		本剤	フルアジナム剤	
小麦	雪腐大粒菌核病 紅色雪腐病	1,000	60~150ℓ	根雪前	2回以内	3回以内 (は種前は1回以内、 は種後は2回以内)	散布
	雪腐小粒菌核病	1,000~2,000					
		250	25ℓ				

■ ランマンフロアブル

作物	適用病害	使用量		使用時期	総使用回数		使用方法
		希釈倍数	10アール当り 散布水量		本剤	シアゾファミド剤	
小麦	褐色雪腐病	1,000	100ℓ	根雪前	3回以内	3回以内	散布 無人ヘリコプター による散布
		250	25ℓ				
		8	0.8ℓ				

小麦雪腐病殺菌剤 混用事例

混用順序		使用方法	混用可否
①	②		
フロンサイドSC (1,000倍)	ランマンフロアブル (1,000倍)	地上散布	混用可
ランマンフロアブル (1,000倍)	フロンサイドSC (1,000倍)		
シルバキュアフロアブル (2,000倍)	ランマンフロアブル (1,000倍)		
シルバキュアフロアブル (500倍)	ランマンフロアブル (250倍)	ピークル(少量散布)	
シルバキュアフロアブル (16倍)	ランマンフロアブル (8倍)	無人ヘリコプター	

※この混用事例は、農業の現地混用に関わる物理化学性の試験例・事例を参考として紹介するものであって、混用を薦めるものではなく、また結果を保証するものではありません。
※展着剤(グラミンS、まくびか)は薬液調製前に加用して下さい。

秋播小麦・雪腐病対策【残効性の評価と防除時期の考え方(北海道、平成26年普及推進事項より)】

防除時期の考え方		本剤は残効性に優れるため、根雪直前散布の必要はなく、より早期に防除を行うことができます。							
防除時期の例		● 小雪地帯: 過去の最も早い根雪始の時期を参考にする ● 多雪地帯: 各地域・圃場でスプレーヤによる防除が可能な時期							
対象病害		雪腐黒色小粒菌核病			雪腐褐色小粒菌核病			雪腐大粒菌核病	褐色雪腐病
薬剤名		フロンサイドSC	シルバキュアフロアブル	A剤	フロンサイドSC	シルバキュアフロアブル	A剤	フロンサイドSC	ランマンフロアブル
希釈倍数(倍)		1,000	2,000	500	1,000	2,000	500	1,000	2,000
残効の目安 (散布から根雪 までの降水量)	積算 降水量	120mm	100mm	40mm	150mm	85mm	25mm	120mm	80mm
	日最大 降水量	65mm	40mm	15mm	—	—	—	65mm	40mm
留意点		● 気象条件や圃場条件、散布機械の運用面など散布可否に関わる条件を優先して確実に散布を行う。 ● 輪作、適期は種や融雪剤散布など、耕種的な対策を行う。 ● 紅色雪腐病防除のための種子消毒を行う。 ● 本試験は散布水量100ℓ/10aで実施。							